

鎌倉映画茶論【嘆きのテレーズ】

「カフェサンスーシ」映画鑑賞の集い

名作は何度見ても新たな発見と感動を与えてくれます

ヴェネツィア国際映画祭 銀獅子賞受賞



フランス映画の傑作！

2人の出会いが人生を狂わせる…。

7月20日(木)

16時より無料上映

『天井桟敷の人々』『霧の波止場』のマルセル・カルネ作品

於：カフェサンスーシ

(鎌倉雪の下3-10-23)

清泉小正門前

要予約 0467-23-7223

毎月第三木曜16時～感動の名画・永遠の名優と共にお過ごし下さい

～ 作品紹介 ～

1953年(昭和28年) 仏 マルセル・カルネ監督 102分

エミール・ゾラのの小説『テレーズ・ラカン』(1867年)の映画化
リヨンの裏町、ラカン生地店の主婦テレーズ(シモーヌ・シニョレ)は、
病弱な夫カミイユ(ジャック・デュビイ)、息子を溺愛する姑ラカン夫人
(シルヴィー)との絶望的な生活に耐えていました。或日、貨物駅に勤める
夫が意気投合して招いたイタリア人運転手ローラン(ラフ・ヴァローネ)に
魅かれ、ローランも彼女に駆落ちを迫る関係に発展していきます。
二人はカミイユに真相を打ち明け離婚を迫りますが、夫は哀願と脅迫で拒否、
妻をパリの親類に閉じ込めようと旅行に誘い、後を追ったローランが
カミイユをデッキから突落とし、事件の夜、列車で夫婦と同室だった
復員水兵(ローラン・ルザッフル)に恐喝される展開に、二人の運命は…?
スリルとサスペンスに心理描写を交えて描くフランス映画の傑作です!

カフェサンスーシ 鎌倉